



仙台市 連合町内会長会 だより

平成26年〈2014年〉3月
第 23 号
 発行
 仙台市連合町内会長会
 〒980-0802
 仙台市青葉区二日町1番23号
 仙台市役所二日町第四仮庁舎9階
 電話 022-214-3810
<http://www.sendai-sirentyokai.com>

ごあいさつ



会長
阿部 欣也

平成25年度定期総会におきまして会長に就任いたしました太白区連合町内会長協議会の阿部です。よろしくお願ひ申し上げます。

町内会の皆様には日頃から「安全・安心で住み良いまちづくり」にご尽力いただき、心から厚くお礼申し上げます。特に、先の東日本大震災発生時の避難所運営、被災者支援、要援護者支援等の諸活動に行政等と力を合わせ、大きな成果を上げられたことに

深く敬意を表する次第です。さて、本会では、今年度の事業計画で次の3点を重点事項に掲げました。

- 一、市全体の地域版避難所運営マニュアル策定と励行
- 二、町内会の活力向上策の検討
- 三、他都市自治会連合会との連絡提携の強化

ご周知のように、仙台市では、先の大震災を機に「地域防災計画」が大幅に見直され、昨年4月に新計画が策定されました。その中では、「先ず自助・共助」「そして公助」という指針のもとで、各連合町内

会が中心となり、地域の諸団体、学校、行政等と一緒に「地域版避難所運営マニュアル」を作成するという新しい取組みが重視されました。これにより、市内全域でこの取組みが一齐に進められました。

本会では、区連合町内会長協議会ごとに関心点、進捗状況を確認の上、励行策を協議し合い、平成26年度中に「マニュアル策定」とそれに基づく「指定避難所開設・運営訓練」を実施するという共通目標を立てました。この一連の活動は、地域に共通する問題解決に諸団体・学校・行政等と一緒に取組むという「新しいコミュニティづくり」に繋がるものと確信し、11月から「町内会活力向上策検討委

員会」を立ち上げ、鋭意検討を進めているところです。重点事項の進捗状況につきましては、今後も折を見てご報告してまいりますので、皆様方のご意見とご協力を賜りたくお願ひ申し上げます。

なお、今号から取組みました広告掲載に、市内の多くの企業等から心強いご協力を賜りました。このことが各企業等のさらなる業務発展や社会貢献のPRにつながり、地域経済の活性化に直結することになれば幸いと念願しております。誠にありがとうございます。終わりに、市内全町内会のご発展と、会員皆様のご健康をお祈りしご挨拶いたします。

ごあいさつ



仙台市長
奥山 恵美子

仙台市連合町内会長会の皆様には、日頃から本市の市政運営に対し格別なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

震災から早くも3年の時が過ぎ、5年間の仙台市震災復興計画の正念場と心得て、復興を確実に進めてまいりたい決意

でございます。

防災集団移転先の整備や復興公営住宅への入居、宅地の再建、経済対策、農業復興などに、被災されたお一人おひとりに寄り添い、復旧・復興を実感していただけるよう、取り組みを進めてまいります。

町内会の皆様におかれましては、生活環境の向上や環境美化、地域の情報共有など、日頃から多方面でご活躍をい

ただいております。加えて、地域版避難所運営マニュアルにつきましても、土地柄やお住まいの方々の状況など、地域の実情を反映しつつ、策定を進めていただいております。

百万人を超える大都市におきまして、このように地域の運営主体として力を発揮していただいている例は少ないものと考えており、心から感謝を申し上げます。

平成27年春には、国連防災世界会議が仙台で開催されますが、震災時、そして復興においても発揮された地域の力

を、世界に伝える絶好の機会と考えており、市民の皆様と共に、開催に向け、準備を進めてまいります。

町内会の皆様には、今後とも、住民と行政の架け橋として、共にこれからの仙台の復興まちづくりにご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴会のみまますのご発展と、会員皆様のご健康をお祈りいたします。ご挨拶いたします。

仙台市連合町内会長会

平成 25 年度活動状況

▼定期総会

5月31日、市内パレスへいあんにおいて定期総会を開催しました。

当日は議事に先立ち連合町内会活動に功労があった6名の会員に会長表彰がありました。(関連記事12面)



定期総会審議

議事は、大西燕沢学区町内会連合会会長を議長に選出して行い、平成24年度事業報告・収支決算報告・監査報告、平成25年度事業計画・収支予算が議案どおり承認されたほか、役員改選を行い、阿部会長以

下新任・留任を含め24名の新役員が新たに決まりました。

(新役員は12面に掲載)

議事終了後、当会の会長及び副会長として尽力し勇退された武田会長と柿沼副会長に特別表彰がありました。

総会には、会員113名中106名(9件の委任状含む)が出席しました。

▼会員研修会

総会に引き続き、会員研修を行いました。

今回は、他都市事例学習として、横浜市から市民局地域活動推進課の小宮課長を迎えて「横浜市の町内会の活力向上の取組」について学んだほか、市内の地区連合町内会の活動事例として、太白区中田西部町内会連合会の阿部会長から「防災を主軸に地域内連携を深める地域づくり」と、泉区高森東連合町内会の傳野会長から「共助が当たり前になる地域づくり」の2つの事例について学び合いました。

研修会には、会員100名と市職員等20名が出席しました。



会員研修会

※研修会の概要は、当会ホームページの最新情報に掲載しています。

▼会員懇談会

会員研修会終了後、市長や市民局長、各区長・総合支所長、まちづくり推進課長、中央市民センター長をお迎えして会費制による懇談会を開催しました。

▼役員会

役員会を5月22日、10月22日、2月19日に次の議題で開催しました。

- ・(第一回) 総会議案及び運営
- ・(第二回) 前期反省と後期の進め方
- ・叙勲等表彰候補者の推薦のあり方

- ・(第三回) 次年度事業及び予算内容
- ・叙勲等表彰候補者の推薦規程(案)

▼正副会長会

正副会長会は、本会の運営や市政の重要課題に関する説明、協議の場としてほぼ毎月定例会議や臨時会議を開催しました。

【今年度の主な議題】

- ・定期総会、会員研修会
- ・杜の都防災力向上マンション認定制度
- ・マンション管理支援団体との懇談会
- ・地域防災リーダー養成
- ・国連防災世界会議の取組
- ・地域版避難所運営マニュアルづくりの励行
- ・県内市町村、政令市自治会連合会に関する調査
- ・町内会活力向上策検討専門委員会設置
- ・市等の審議会委員の推薦
- ・役員会、役員研修会など



正副会長会

▼市長と正副会長の懇談

6月11日と11月13日に正副会長会メンバーが市長を訪問

して、地域版避難所運営マニュアルづくりの取組みなどで、進み具合がスムーズでないところをカバーしながら、しっかりした成果を出せるように互いに連携を深めることなどについて懇談しました。



市長と正副会長会の懇談

社会福祉法人仙台市社会福祉協議会

まち誰もがこの地域で

安心して暮らせるように

仙台市青葉区五橋 2-12-2
仙台市福祉プラザ 6F TEL 223-2010(代表)



仙台市社会福祉協議会

検索

▼役員研修会

11月20日に作並温泉しあ楽リゾートホテルグリーングリーンにおいて役員21名、事務局等職員21名、合計42名が出席して役員研修を開催しました。



役員研修会全体会 (分科会報告)

研修会では、「地域版避難所運営マニュアルづくりの成果と課題」をメインテーマに、3つの分科会で「マニュアルの項目」「マニュアルづくりの実施メンバーと事前協議の持ち方」「複数避難所の運営の仕方」について熱心に討議した後、全体会で各分科会の内容を共有し、今後の町内会活動で役立つ成果を得ました。
当会では、この研修会で得られた成果や明らかになったことを「マニュアル作成の手引き」や「参考版マニュアル」にまとめ、以後の地域版避難所運営マニュアルづくりに生かせるようにしました。

平成25年度重点事項の進捗状況

▼地域版避難所運営マニュアルづくりの励行

昨年4月に「仙台市避難所運営マニュアル」が策定されたのを受けて、各地区連合町内会が中心となって、仙台市避難所担当課、各種地域団体、施設管理者などが協力して、各々の地域に合った「地域版避難所運営マニュアルづくり」が進められるのにあたり、当会が、この進捗状況を把握しながら励行することを、平成25年度の事業計画の重点目標に掲げました。詳細は、第11面をご覧ください。

▼町内会の活力向上策検討

町内会の活力向上策を計画的、専門的に検討するため専門委員会を設けることになり、第1期目として「地域内連携強化による地域課題解決策」の検



第1回専門委員会

討を行うことになりました。

各区連合町内会長協議会から推薦された8名の委員が11月25日の第1回委員会を皮切りに、その後、地域内連携に関する調査を含め、精力的に検討を進めています。

▼他都市の自治会連合会との連絡提携の強化

宮城県内市町村との連携
県内12市21町1村の自治組織（行政区长制度を含む）担当課の協力を得て、自治活動の実態と県単位とする自治会連合会結成などに関する意向調査と報告会兼懇談会を行いました。

今後、各市町村が今回の調査結果をどのように受け止めたかなどを確認しながら、新たな情報交換の場などを探ってまいります。

○政令指定都市との連携

政令市20市（仙台市を含む）を対象に、各市の市全域の自治会連合会の組織、活動内容の実態、連合会間の連絡会議の必要性などに関する調査を行いました。この結果、様々なところで大いに違いがあることがわかりました。今後、実効性のある連携策を探ってまいります。

全国自治会連合会「全国大会」情報

毎年、連合会加盟の32都道府県の諸都市で開催地を移し、自治会・町内会関係者が一堂に会し、情報交換や協働のまちづくり事例を学び合う「全国大会」が開催されていますが、今年度は、10月18日、「歴史と文化のまち」埼玉県川越市で開催（約二千名参加）されました。

当日は、会長、開催地知事、市長の挨拶の後、内閣総理大臣のメッセージが披露され、その後、会長表彰（全80名）に移り、北海道・東北ブロックを代表し、齋藤会計理事が代表受領しました。

続いて「大会宣言」がなされた後、「講演会」「協働のまちづくり実践報告会」に進み、「N



南古谷ウインド・オーケストラ

PO法人子ども大学かわしえ」や「南古谷ウインド・オーケストラ」による実践報告が行われた後、最後の「交歓会」において、互いに名刺交換や活動紹介などを通じて、大いに親交を深めました。

▼マンション管理支援団体との懇談

10月28日に、急増するマンション居住者との防災・減災活動の協調や町内会加入の促進を目的に、当会の代表6人が、マンション管理支援団体代表6人と懇談会を行いました。

懇談会では、それぞれの組織や活動内容について紹介し合った後、今後、お互いにとどのような連携・協力が可能かなどについて話し合いを深めました。当日は、市当局の担当課職員も出席しました。

▼視察対応

10月に、川崎市全町内会連合会と宇都宮市自治会連合会から、本市の町内会活動や震災対応状況、防災の取組み内容などに関する視察があり対応しました。

互いに情報交換を行い、今後いろいろな形で連携していくことにしました。

青葉区連合町内会長協議会

平成25年度活動状況

△総会

島田福男氏を新会長とする役員改選案、新たに防災担当理事とコミュニティ担当理事を置くこととした規約改正案などが原案通り承認されました。(5月20日)

△新任町内会長研修会

新任会長55名が参加。東六番丁小学校長に、学校と地域の連携について講演をいただきました。(6月28日)

△青葉区町内会長研修会

JR東日本仙台支社から、仙台駅東西自由通路拡幅と東口開発について話を聞きました。(11月12日)

△町内会会員研修会

せんだい男女共同参画財団理事長から、「多様性ある地域防災」について学びました。(12月6日)

△連合町内会長移動研修会

「地域版避難所運営マニュアルの作成」をテーマにグループ討議し、市の作成支援アドバイザーから助言をいただきました。(1月28日)

△その他

・地域版避難所運営マニュアル作成の手引きを作成し、全町内会に配布。
・コミュニティ問題に関する小委員会を設置。

地域内の連携深め よりよい連合運営へ

台原北部連合町内会

会長 平池 稔

当連合町内会は、台原森林公園に隣接する18町内会・約2800世帯で構成されています。一昨年6月に会長が交代し、新役員体制となりました。連合町内会の果たすべき役割や、運営の効率化など諸課題の検討を進め、会則も見直しまし



連合町内会研修旅行

た。新たな会則のもとスタートした本年度の主な活動を紹介します。

① 青葉区地域懇談会

北根地区親和会と台原六本松自治会の要望事項を区長宛に提言しました。

② 仙台市地域防災リーダー

4名の推薦枠に対し、台原六本松自治会、住善会、北根地区親和会、森林町内会から自発的な立候補がありました。消防局の養成講習を経て、新リーダーが誕生。さっそく、理事会に招き、今後の活動などについて意見交換しました。

③ 青葉区避難所運営地域範囲検討会

管内18町内会がどの指定避難所区域に属するかを確認。8町内会が台原小、7町内会が台原中、3町内会が旭ヶ丘小で、今後の問題検討に備えることとしました。

④ 台原地区3連合町内会合同防災研修会

地震発生時の行動基準や指定避難所の運営、町内会の役割など、関心の高いテーマで行われました。

⑤ 大型マンション防災講座

地元三本松市民センターの企画で開催されました。マンション町内会の運営には課題が多い中、町内会長と理事長が共に参加したこの講座は有意義なもので、互いの連携の大切さを再認識しました。

⑥ 連合町内会研修旅行

甚大な被害を受けた気仙沼南三陸方面を視察しました。防災を学び、会員同士の親睦も深まり、得るものが多い充実した研修会となりました。

文教の夢のある まちづくりを目指して

桜ヶ丘学区連合町内会

会長 酒井 典雄

桜ヶ丘学区連合町内会は、青葉区と泉区の区境にあり、昭和50年に結成されました。



桜ヶ丘夏まつり

加盟町内会は15町内会で、世帯数は約4600、人口は約1万人となっています。

町名にふさわしく、各町内会では桜の木が植樹され、随所で桜の花が見られます。中心部にあるロータリーの桜は地域のシンボルとなっており、桜ヶ丘の歴史を見守り続けています。名所の桜ヶ丘公園の

桜並木は、住民の憩いの場として親しまれています。地域内には、桜ヶ丘保育所、宮城学院幼稚園、桜丘小、桜丘中、宮城学院中、宮城学院高、明成高、宮城学院女子大まであり、市内有数の文教地区ともなっています。

① 学区夏まつり花火大会

町内会、住民、企業、商店等からの協賛金で開催しています。大型の花火が目の前で次々に打ち上げられ、夜空を豪快に彩ります。

② 学区民大運動会

町内会対抗で、種目ごとに熱戦と応援合戦を繰り広げ、総合優勝を競います。小、中学生も町内代表の選手で出場しており、連帯感、結束力を高める役目も果たしています。

③ 防災訓練

毎年行われており、地域の安全・安心を守るため創意工夫し、実践的な訓練を通じ、災害に備えています。今年も新しい避難所運営マニュアル実践の場として、総合防災訓練を開催します。

地域の将来像については、文教地区の特徴を十分に生かし、地域と学校との相互理解と信頼の上に立って、子供の「夢」を育む環境を整え、それを住民が温かく見守る心豊かな明るい町づくりを目指していきます。

【宮城地区】 平成25年度活動状況

△総会

平成24年度の事業報告、平成25年度の事業計画案、収支予算案並びに役員を選任について、原案通り承認されました。(5月17日)

△町内会長移動研修会

47名が参加。東松島市野蒜及び塩竈復興市場等を視察。野蒜では語り部ガイドの説明を受け、津波被害状況のビデオ映像を視聴しました。復興市場では、現在の復興状況と今後の課題等について学習しました。(9月26日)

△市長を囲む懇談会

作並温泉La楽リゾートホテルグリーン・グリーンを会場に、奥山市長と管内町内会長53名が市政について意見交換しました。(11月9日)

△町内会会員研修会

作並温泉一の坊を会場に東北税理士会から講師を招いて、各町内会の会計実務者を対象とした研修会を開催しました。(2月6日)

※ 宮城地区では、青葉区連

合町内会長協議会のほかにも地区内の連合町内会(10)及び単位町内会組織(75)により、宮城管内町内会長連絡会を組織し、町内会相互

の緊密な連携・協調のもと、地域社会の発展、快適な生活環境の創造、社会福祉の増進等を目標に研修や自治活動の振興と向上に寄与する活動が行われています。当会は、昭和3年5月に設立され、会費により運営されている組織です。

四季の美しさの中の 住民の交流育む

上愛子学区連合町内会

会長 庄子 晟

上愛子学区連合町内会は宮城地区の西部に位置し、上愛子小学校区にある八つの単位町内会で組織しています。単位町内会の規模は、小さいところで30世帯、大きいところは260世帯余り。ほとんどの世帯が町内会に加入しており、連合会全体の総会員数は約850人になります。

単位町内会の位置関係を説明しますと、地区内には国道48号線と仙山線が並行して走っており、宮城広瀬体育館を過ぎたところからハイランド入口付近まで、倉内、大針、赤生木、白沢、熊ヶ根の五町内会が連なります。

国道48号沿い白沢車庫の近く、渡幸大橋を渡ったところに西川前町内会があります。

また、熊ヶ根橋から定義方面に向かう先で道が二つに分かれますが、それを左に行くと、水道記念館があり、その奥に大手門町内会があります。分かれ道を右に行くと、下倉町内会があり、その範囲は仙台市民の水瓶・大倉ダムのところまでとなります。



連合町内会「歩け歩け大会」

仙台市水道記念館周辺の自然は素晴らしい、春は桜、秋は紅葉と、四季折々の豊かな風景に出会えます。その風景の中で、歴史を感じさせる記念館の建物が趣あるたたずまいを見せてくれます。記念館のそばでは、地元農家の方々が、野菜や加工品などの直売所を開いており、にぎわいを見せています。

連合町内会の事業としては、交通安全を目的に、各町内会で、国道・市道沿いの草刈りやごみ拾いを年に2、3回実

施しています。ドライバーのマナーによるところですが、空き缶や空き瓶など、ごみの投げ捨てには大変困っています。連合町内会では昨年からは、ごみ投げ捨て禁止の立て看板を作り、ドライバーに協力を呼び掛けているところです。

11月16日、水道記念館前をスタート・ゴールに開催した「歩け歩け大会」には、約50人が参加しました。快晴の青空が広がり、周囲の山々は赤や黄に色づき、紅葉も見ごろ。鳥のさえずりも心地よく、参加者の皆さんは、ゆっくり、焦らず、思い思いのペースで歩き、約2時間の行程を楽しみました。

お昼はある町内会の女性が準備をしてくださいました。駐車場にブルーシートを敷いて、皆さんで輪になって、いも煮と定義の味噌おにぎりをおいしくいただきました。連合町内会のコミュニケーションを深めることができ、楽しい一日を過ごすことができました。



こだわりの輸入住宅 2×4・2×6

トガシホーム

株式会社 富樫工業

〒989-3128

仙台市青葉区愛子中央6-6-22

☎022-392-2415

快適で安全な環境づくり...

カーテン・ブラインド・カーペット他

インテリア用品

やまき屋

～集会所、コミセンその他公共施設に納入実績～

株式会社やまき屋
仙台市青葉区旭ヶ丘1-2-10

TEL 022-301-8055
FAX 022-301-8056

宮城野区連合町内会長協議会

平成 25 年度活動状況

△総会

4月11日、宮城野区役所で開催。平成24年度の事業・収支決算報告、平成25年度の事業・収支予算案が原案どおり承認されました。

△新任町内会長研修会

30名の参加を得て6月21日開催いたしました。

前半は地域の防災をテーマに学習し、後半では、町内会の役割や各種事業の補助制度などの説明を行いました。

△移動研修会

8月22日に東松島市野蒜地区と石巻市南浜町地区を訪れ、被害状況と現状を説明していただきました。

千里の道も一歩から

宮城野地区町内会連合会

会長 木村 正義

当連合会は、昭和44年5月に設立しました。地域内には、史跡・名勝が点在しており、長い歴史を物語る証でしょう。近年には、隣接地に東部市民球場、宮城野区文化セン

ター・中央市民センターの建設があり、地域内住民のコミュニティがより一層深まりました。更に、今後、基幹災害拠点病院として国立病院機構仙台医療センターの建築計画が示されているほか地下鉄東西線の開業もあります。これらの事で地域の生活環境が大きく変わり、新たな課題への対応が求められた時には、地域内調和を図り、解決にあたってまいります。

さて、東日本大震災が発生して間もなく満3年を迎えます。以後の記事は、小生が震災発生後(約90日後)見聞きした内容ですので、ご参考になればと思います。犠牲になられた方々の理由は多様ですが、①まさかここまで...②避難途中で勤務先に向かった。③忘れ物をして再度自宅に向かった。④友人と一緒に避難しようとして時間がなかった。⑤渋滞で巻き添えにあう。以上がご遺族ご親族の証言で判明いたしました。爾今、災害時持出物は特定箇所に保管すべきだと思っております。また、服用する薬は、途絶える事のないよう7日間分位は余分に確保する事が大切なことと思

います。

最後に、大震災後、避難誘導等の見直しを策定しておりますが、何時起きるか分からない災害に完璧な対応策はあり得ないと思います。

しかし、「いつでも、どこでも、だれでも、なんでも」ということを念頭に、「これこそ自助・共助に通ずるものかなあー」と住民意識高揚を図っています。

松原街道に沿った街の今昔

東仙台学区町内会連合会
会長 大友 武雄

「下にー下にー」と昔、大名行列が枝ぶりの見事な松並木の下を歩いたと思われる松原街道。いまは、ガス局前を通り、北東に延びる「仙台・松島線」の沿線を中心に5つの町内会があります。(町内会の数は12)昔は「原の町小田原字何々」と呼び、昭和55年の住居表示実施後、1丁目から6丁目と簡素化はしたものの、そのまま町内会名を名乗ったものはなく由緒ある昔名を冠したところが殆どです。

1丁目の「御立場」は、東仙台駅から右手の小高い丘陵地にあり、藩政時代、藩主在城の折、正月3日狩猟と「御野初」という儀式で、家臣を閲兵す

るための本陣を置いたことから呼ばれました。戦時中高射砲陣地がありましたが一発も当たりませんでした。

「東仙台協和会」は、県道松島線の沿道にある商業街、東仙台中学校があり、中でもNHKのドラマでも放映された、あの「八百屋お七」その「菩薩坐像」が大蓮寺に安置されています。

「天還前」と「念仏壇」は、3・4丁目にある東仙台松原町内会、元図書館の近隣の字名。前者は藩政時代の処刑場で亡くなった人たちの魂が天に還るといふことから名づけられました。後者は処刑された人たちの霊に念仏を唱え、香を炊いて弔ったのでこの名がついたと言われています。

「松岡町内会」は、昭和の初期までは、松山と言っていたのですが、山より岡がふさわしいということで松岡の地名がそのまま残っています。

「案内」は、まったく珍しい地名です。今でも5丁目というより案内住宅と言ったほうが分かりやすいようです。政宗が天正18年岩切城を攻めた時、この地の農民の案内で勝利したと言われています。

このように、私たちの東仙台は戦前・戦後の激動期を歩みながら大きく変貌し、これからも変わっていくことでしょう。

— 地域と共に —

松栄不動産

仙台市宮城野区榴岡1-2-8
TEL.022-295-5080
<http://www.shoei-fudosan.co.jp/>

キリンビール仙台工場へ KIRIN
遊びにきませんか?
ビールの製造工程を楽しくご紹介します!
工場見学にぜひお越しください。

◆見学受付時間 9時～15時30分
◆予約方法
電話にて事前にご予約ください。
TEL : 022-254-2992
(電話受付時間 8時30分～17時)
〒983-0001仙台市宮城野区港2-2-1 キリンビール仙台工場

若林区連合町内会長協議会

平成25年度活動状況

△総会

5月28日(火)開催。平成24年度の事業報告・収支決算報告、平成25年度の事業計画案・収支予算案について、原案どおり承認されました。

△新任町内会長研修会

6月25日(火)、17名の新任町内会長が参加。「町内会活動の手引き」を基にした研修、南材地区の災害対策の紹介を行いました。

△町内会長移動研修会

9月25日(水)、92名が参加。気仙沼市の被災と復旧・復興の状況について、震災復興語り部の方々と同じ震災復興・企画課長から講話をいただいたほか、各自自治体の自治会、町内会の活動紹介と意見交換、リアス・アーク美術館における「東日本大震災の記録と津波の災害史」展による館内学習を行いました。

時代とともに歩んで

荒町地区連合町内会

会長 福邊 信夫

当地区は、12の町内会から

なり、県庁、市役所、仙台駅にも近く区の一帯西側にあります。

今年度、旧国道四号線、愛宕大橋の北の交差点から広瀬橋南端までの道に、南材地区連合町内会副会長片岡昭夫さんの応募した愛称名が最優秀賞となり「昭和市電通り」と市から正式に命名されました。10月15日には記念パレード等が開催されました。市長さん、荒町小学校、南材木町小学校の校長先生、各町内会の会長を始め、関係者の方々には大変お世話になりました。

次に、地元小学校の変遷をみながら時代を振り返ります。荒町小学校は、1873年(明治6年)の開校です。仮校舎として三百人町宮林寺内に設立され、その後、一番小学校と称しました。この年は、太陽暦の実施や仇討禁止令徴兵令発布などが行われ、幕末から新時代へと移り変わる頃でした。1876年、小学校は荒町に移転、知新小学校と改称され、1879年に荒町小学校、1908年に荒町尋常小学校、1941年(昭和16年)に荒町国民学校と改称されました。1947年、学校教育法が施

行され、六・三・三学制が発足しました。1973年、100周年を迎え、記念事業が行われました。1983年に110周年を迎え、この年には日本海中部地震が起り、1993年(平成5年)の120周年の年には、奥尻島の津波被害が甚大だった北海道南西沖地震が起きました。2003年、130周年の時は宮城県北部地震がありました。140周年を目前とした2011年3月、東日本大震災が起き、15000名余りの避難者が、指定避難所である荒町小学校で学校関係者、地元民との連携で一定の期間を乗り越えることができました。そして、現在に至り、140周年を迎えました。

活性化を求めて

連坊地区町内会連合会

会長 近藤 忠美

若林区の中で仙台駅に最も



近く位置しており、構成する14の町内会には、それぞれの特色が見られます。また、マシンの自治会が、連合町内会に加盟し、うれしい一ページがスタートしています。わが連合会の特色の一つは、きめ細かい各種団体との連携です。20の各種団体があり、縦、横の連携の活動が活発です。この活動は、予算に関する連合会との調整、各団体への活動支援、合同の研修会、役員の交流を目的にスタートしました。かつて、区から安全、安心エリアの推進の指定を受けて以来、今も継続して活動しています。防犯パトロール、環境美化活動、交通安全・防犯啓蒙パレードの三つの柱のもとに、各種団体合同で実施しています。今年度は地域版避難所運営マニュアル作成への取組を重点目標にしています。特にこれらの活動は、区役所との情報交換、支援等を得ながら実施しています。区役所の積極的な参加に感謝しています。毎年一月には、各種団体との合同新年会を催し、その際には永年役員勤続表彰者の招待や行政機関の臨席を得、親睦を深めています。町内会連合会の活性化を考慮し、連合会会長の任期は二期とし、できるだけ多くの方に会長を体験していただくよう規約を改正しました。

間もなく、地下鉄が連坊地区を東西に横断します。各町内会もかなり変化することでしょう。楽しみです。

地下鉄東西線沿線の新しい街づくり

平成27年 街びらき予定

仙台市荒井西土地区画整理組合

理事長 伊藤 敬一郎

〒984-0032 仙台市若林区荒井字梅ノ木101

Tel 022-287-0850 FAX 022-287-0860



連合町内会主催安全・安心パレード

太白区連合町内会長協議会

平成25年度活動状況

△総会

5月9日、庄司太白区長を来賓に迎え開催しました。平成24年度事業報告・収支決算報告、平成25年度事業計画案・収支予算案、規約の一部改正の議案を提出し、承認されました。

△新任町内会長研修会

7月1日、太白区役所5階ホールにおいて、新任町内会長32名の参加を得て開催されました。「町内会活動の手引き」をもとに、町内会の役割や各種助成制度等についての研修と、町内会活動や運営に関するトークセッションを行いました。

△全体会

今年度は、6月14日、10月3日、10月30日、1月30日に開催しました。事業の実施内容や、「太白区地域活動推進委員会」などについて活発な意見交換が行われました。

△移動研修会

10月30日山形蔵王温泉において開催しました。「地域版避難所運営マニュアル」の作成にかかる事例発表と題して、会

員8名が各連合町内会の地域特性を反映させた地域版避難所運営マニュアルの内容や、作成に当たった問題点などを発表し、参加者全員で活発な意見交換を行いました。

生地のまちづくり

生入学区連合町内会

会長 堀江 俊男

生入学区連合町内会は、太白区のシンボルである太白山（生出が森）の眼下にあります。

仙台市の南西部に位置し名取川に沿うように横長に広がる太白区、生出地区はその太白区のほか中心に位置し、仙台駅より車で約30分足らずの中山間地で、東南は名取市、南西部は柴田郡川崎町、北は青葉区折立、愛子に面し自然に恵まれた地域です。

12町内会90世帯の連合町内会ですが、各種団体（6団体）の会長等は町内会長が兼務し、月例会と臨時会を開催し、地域全体の問題についての情報を共有、交換を行い事業を

行っております。

生入学区連合町内会の事業展開は、生出市民センターに市民センター運営協力委員会を開設し、共同で事業を行っております。

各団体、町内会等地域全体の協働で、「フライハイおいで」「子育て応援団」「雀おどり生出張支援」「生出版物作成」「生出張支援」「生出張祭り」「生出張祭り」の事業を行っております。



フライハイおいでの凧揚げ大会

また、防災・減災の地域づくりを目的に、災害対策協議会を設立、自主防災組織に対する支援等を行うことにより、日常生活における災害対応、要援護者支援、日赤奉仕団、地域より協議会会費等の協力を得て実施しております。生出地区は、歴史の町でも

あり縄文時代からの遺跡が散在しております。歴史遺跡の保存、各種制約による世帯数の減少等、これからの町づくりは大変ですが、地域住民との協働で取り組みたいと考えております。

事業報告

富沢地区町内会連合会

会長 高橋 東

当管内には、中学校1校と小学校3校があり、町内会は13、世帯数は約8200、地理的には、名取川北側に沿った細長い地形上にあり、その中央に荒川が流れています。

この荒川は、昔は、洪水を引き起こす暴れ川でしたが、近年改修工事が行われ、今では、地域住民の憩いの場所となっております。

街の発展は、地下鉄開通によるところが多く、現在も富沢駅周辺土地地区画整理事業が実施されております。

また、今年からは、富沢駅西土地地区画整理事業が開始される運びになっており、街並みも新しさを増し、人身にも若さがみなぎりつつあります。

地域懇談会は、毎年開催し、太白区役所と地域要望についての情報交換を行っております。太白区から安全安心街づく

り活動推進モデル地区の指定を受け、地域の皆さんと防犯活動の啓蒙を行っております。施設見学会では、東日本大震災の被災状況把握のため、各町内会の役員30名で女川方面へ行ってまいりました。ただただ犠牲者に手を合わせ、ご冥福をお祈りしてまいりました。

新年には、毎年太白区長さん、当管内の主だった方をお招きして、新年会を開催し、情報交換の場としております。

地域活動では、新荒川環境美化活動協議会を、平成22年に立ち上げ、管内13町内会と富沢中学校、富沢市民センターが一体となって、毎年6月と9月の2回、清掃活動を行っております。

富沢市民センター祭りには、町内会連合会から実行委員長と各町内会から会場設営等の要員の派遣、振る舞い餅の提供をして、お祭り会場を盛り上げております。

今回の大震災による管内の被害は、屋根瓦破損程度で大きな被害はなかったのですが、当管内には、長町利府断層があり、今後の防災対策には、気を緩めず対応してまいりたいと思っております。

連帯と融和

馬場連合町内会

会長 佐藤 龍夫

馬場連合町内会は、太白区秋保町の最西部に位置する5つの町内会（210世帯、人口798人）で組織されており、町内会加入率は99%となっております。

世帯の多くは兼業農家で、他の中山間地同様に高齢化が進み、その割合は秋保地区内最高の32.5%になっていきます。規模は大きくありませんが、その分、互いの顔が見える「和気あいあい」の集まりを築いてきました。

私達の馬場地区には、皆さんご存知の観光スポットが点在しております。山形県境に源流を發する名取川に沿って、登山客で賑わう大東岳、国指定名勝「磐司」や「秋保大滝」等の自然景観、二口山塊の植物を紹介する秋保大滝植物園、中世期の伊達、最上の勢力争いに由来する史跡、東北地方では珍しい石のアーチ橋「小滝沢橋」（通称めがね橋）など、手前味噌ながら誇れる観光資源に恵まれ、年間を通じて多くの市民や観光客が訪れております。こうした環境の中で、連合町内会としての事業を展開し

ている訳ですが、常に大きな課題を抱えながらの運営となっております。一つは、各町内会が東西に約9キロという細長い区域の間に点在し、交通の便が悪いという地理的な条件です。二つ目は、住民の少子高齢化の進行による人口減少等により、どうしても企画や実施に至る調整に困難な面が生じることです。いずれもなかなか解決の糸口が見えませんが、そこを何とか、昔から育んできた地域のまとまり「地域力」でカバーしている状況です。

毎年5月に開催される馬場学区民大運動会では、幼稚園児や馬場小学校児童（40数名）と共に多くの地域住民が参加し、地区内の一大イベントとして楽しく交流を図っています。

さらに、地域内の他団体との連携を進め、秋保市民センターとの共催による「グラウンドゴルフ大会」や、秋保地域包括センターとの共催で、高齢者福祉を考える「地域包括ケア会議」等を開催するなど、健康増進に向けた活動や福祉に関する勉強会も行っています。

今年度は、地区内の指定避難所である馬場小学校における地域版避難所運営マニュアルの作成にも取り組んでいます。山と川に囲まれた地形の条件等を念頭に、民生委員児

童委員、小学校、市の避難所担当課、市民センターの皆さんと鋭意検討を重ねているところです。



避難所運営マニュアル作成検討会

これまでは2、3年毎に、秋保総合支所、太白消防署秋保出張所の協力を得ながら、馬場地区の総合防災訓練を実施していましたが、新しいマニュアルが完成した後は、これに基づいた訓練のあり方も併せて模索していきたいと思

います。最後に、連合町内会を構成する各町内会が取り組んでいる特色ある事業を紹介いたします。

秋保地区では年3回月日を決めて全域で一斉清掃を行っています。残念ながらポイ捨てされたゴミはなかなか無くなりませんが、より良い生活環境を確保するために、住民総ぐるみで頑張っています。

他には、年2回の市道ボランティア除草にも積極的に協力しているところです。今後とも、地区住民の連帯と融和を図りながら、目的とする住みよい地域づくりを努めていきたいと考えております。

秋保地区町内会長会

【活動紹介】

- ・役員会
- ・監査会
- ・総会、主要事業説明会
- ・地域懇談会用要望事項調査
- ・地域懇談会
- ・移動研修会

※秋保地区町内会長会は、地区内の連合町内会（3）及び単位町内会組織（17）をもって、会費により運営されている組織です。



馬場連合町内会「磐司岩」

総合結婚式場・ご宴会・パーティー・ご法要・仕出し料理

いとう会館

〒982-0011 太白区長町7丁目6-11
TEL 247-4719 FAX 247-4791

各種ご宴会・ご会合・お食事

五十集庵いとう

〒982-0011 太白区長町4丁目7-5
TEL 248-0738(代)

オフィス・オートメーション&オフィス・アメニティ

OA&OA 赤井沢

本社営業部 仙台市太白区長町五丁目3-3
TEL 249-2121 FAX 249-2128

- 長町店 TEL 247-8848
 - 富沢店 TEL 246-7771
 - 大和町店 TEL 238-0543
 - 六丁の目店 TEL 390-1123
 - 南宮店 TEL 233-7077
 - TOTO'S赤井沢 TEL 304-1666
- ザ・モール仙台長町3階

日帰りご休憩・ご宿泊・ご宴会

会議・ご会合・お食事・ご法要など

心やすらぐ天然温泉の宿

茂庭荘

〒982-0251

仙台市太白区茂庭字人來田西143-3

TEL;022-245-5141

泉区連合町内会長協議会

平成25年度活動状況

△総会

5月15日開催。平成24年度事業報告・収支決算報告、平成25年度事業計画案・収支予算案が原案どおり承認されました。

△新任単位町内会役員研修会

6月18日開催、43名参加。町内会の運営等について研修しました。

△単位町内会長研修会

9月8日・9日秋保にて開催。仙台大学の鈴木省三教授を講師にお招きし、「高齢者の体力の現状と改善」と題して、受講者も軽く体を動かしながら、講演していただきました。
△連合町内会長研修会

10月29日・30日青森県弘前市を訪問。弘前市町会連合会のみなさんと活発に意見交換を行いました。

みなさまに支えられて

北中山連合町内会

会長 佐藤 重子

北中山地区は、仙台大観音

の西側にあたり、東北自動車道のすぐ北側に位置する1900世帯程の新興住宅地です。

北中山小学校から望む秀峰泉ヶ岳の眺めは、春夏秋冬色々な顔を見せてくれて、その一瞬一瞬の姿がとても素晴らしい感動するものがあります。当連合町内会は「愛とふれあいのある町」をキャッチフレーズに掲げて町内活動に取り組んでいます。特に東日本大震災の教訓を踏まえ、防災訓練をはじめ、自主防災組織の見直し、避難所運営のあり方等、町内の皆様からアンケートを取るなどして改善を図っています。平時からの安否確認の訓練や防犯パトロール、交通安全指導も年間を通して欠かさず行っています。

町内最大のイベントでもある夏祭りには、小学生全員が絵灯ろうを制作し、櫓の周りに飾ります。ローソクに灯が点ると幻想的で、祭り会場はきらびやかに、さらに盛り上がりがあります。模擬店出店や演芸、花火大会、盆踊り等大勢の人達に支えられた手作りの祭りですが、2500人もの人出で賑わいます。この祭り

が、地域の皆様とのコミュニティの向上に繋がりが、さらには、子供達の「ふるさと」の思い出作りになるよう願って開催しています。

少子高齢化が進む中、70才以上の方々は町内全体の人口の約1割強となっています。ひきこもりで孤立しないように、生き生きと豊かに過ごしていただけるよう、高齢者を対象に各単位町内会がそれぞれ趣向を凝らしたふれあいサロン会を毎月開催し、敬老祝賀会、日常生活の支援などにも取り組んでいます。

明るく楽しくなるような町内活動に向けて知恵を出し合い、地域の皆様のご指導、ご支援をいただきながら「安全安心のまち」づくりにより一層邁進していきたいと思っています。

地域文化を後世に

野村・上谷刈西連合町内会

会長 庄子 稔

当連合町内会は、野村小学校区の2町内会で構成された、世帯数約480戸、人口約1300人の地域で、その殆どが第2種兼業農家であります。地域には、「泉総合運動場」、「シェルコム仙台」等のスポーツ施設をはじめ県重要文化財指定の「賀茂神社」や「古内志

摩の墓」など優れた名所旧跡もあります。また、地区の中心を東北自動車道が縦断し、泉P.A.スマートICの開設と大型ショッピングセンターの出店で自動車交通量は、年々増加の一途を辿っております。さて、3年前に町内挙げて取組んだ大きな出来事がありました。野村小学校の存続に関する問題であります。仙台市教育委員会は、市内小・中学校の一定規模確保に向けた実施方針を打ち出し、野村小学校は優先して統合したい小学校3校の一つに選ばれたのです。私たちは、いち早くこの問題を話し合うため、地域7団体と教育委員会とで「地域懇談会」を設置し、子供たちのより良い教育環境のあり方と小学校不在で良好な地域コミュニティを持続することが出来るか、などについて、約2年間にわたり議論してまいりました。

話し合いの結果、平成23年7月に私たちが出した結論は、「小規模校ゆえに、子供たちは応用力を育むための経験の場が少ないなど一定の課題はあるものの、地域コミュニティの核となる小学校が必要であり、地域の拠り所である野村小学校は存続すべき」として話し合いを終了し、存続することになったのであります。野村小学校は、毎年旧盆に

地域の老若男女が一同に集う「盆踊り」の会場として、また、例年9月第2日曜日に開催する「敬老の集い」では、校長先生以下多数の児童が参加して、お年寄りの皆さんと親しく交流するなど、地域にとりましては、物心両面で掛け替えのない存在となっているのであります。

また、当地区には、昔から部落単位で「慶弔の際には、お互いに助け合う」という「結」の習わしがあります。地域コミュニティが希薄になったと云われる今日、今後とも住んで良しの心地よい地域環境を維持していくためには、地域で育まれた様々なイベントを地域挙げて展開するとともに、先達の知恵によって培われてきた野村固有の文化を後世に引き継ぐことが何よりも重要と考えております。



「敬老の集い」の様子

地域版マニュアルの必要性

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、甚大な被害が発生し、想像を超える非常に多くの人々が避難所に集まりました。ほとんどの地域で避難所運営訓練を行って

いなかったこともあり、避難所開設や運営体制について実

生かすため、平成24年度中に仙台市消防局の素案をもとに町内会をはじめとする多くの団体・市民からの意見を取り入れた「仙台市避難所運営マニュアル」が、平成25年4月に策定されました。

新しい避難所運営マニュアルは、地域に住む人々すべて、避難所に集まる人々すべて、事業所に勤務する人々すべて、旅行や通り返りなどで訪れた人々すべてに適用され、共有されるものです。

マニユアルは、「事前準備解説編」「活動編」「マニユアルシート集」「様式集」で構成されています。

しかし、このマニユアルは、仙台市の避難所運営に関する共通事項がまとめられておりますが、市内の地域のすべてに画一的に通じるものではありません。

指定避難所などの立地状況や地域の土地柄、そこに住む方々の状況などによって、重要となるポイントや取り決めごとなどが異なる場合があります。また、これまでの経験をもとに、避難ルールや災害時の手順などを既に定めている地域もあります。このため、仙台市では、地域団体の方々や避難所の施設管理者の皆さんとともに、避難所運営に関する話し合いを行い、地域の実情などを反映した「地域版」避難所運営マニュアルの作成を進め、「市全体の避難所運営マニュアル」と「地域版避難所運営マニュアル」を組み合わせて万全な体制で避難所運営をしていくことにしています。

仙台市 地域版避難所運営マニュアルづくり ~その必要性と取組みの現状など~

地域版マニュアルづくりの取組みの経過と現状

仙台市は、平成25年度から市内すべての指定避難所の担当課を決めました。そして、7月から地域団体や施設との

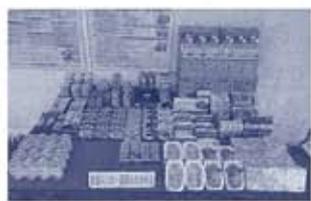
顔合わせを開始し、その後、各地区連合町内会長などの打合せを進めて「仙台市のマニユアルに定められている事前協議」や「各地区恒例の防災訓練」などを踏まえて、マニュアルづくりを本格的に進める体制を整えました。この中で、各地区において、地域団体との連絡調整に地区連合町内会長が率先かつ主導的な役割を果たしました。当会は、このマニユアルづくりを重要視し、5月末の定期総会において、本年度の事業計画の重点事項と位置づけ、定例の正副会長会議でこの進捗状況を把握しながら、励行していくことを決定しました。その上で、これまでに7月末と10月初めに独自に実態調査を行いました。

この結果、7月の時点では、地区内の打合せの実施が区によってかなり差がありました。10月時点では、ほぼ打合せが終了し、事前協議も進み、策定完了時期の目安がついているところも多く、本格的な取組みが進んでいる状況が確認できました。

『一週間分程度』の備蓄食料の勧め

東日本大震災の経験から、家族で話し合い、自分達に合った食べ慣れた飲料水・食料品を『一週間分程度』備蓄しましょう。

消費期限・賞味期限を過ぎたら定期的に食べる『循環備蓄』を心がけましょう。



故人の好きだったあの花でおくりたい 葬祭会館 花さいだん HANA SAIDAN 022-303-8731

住まいのコンシェルジュ 株式会社 山一地所 あなたち、いい毎日と、結びます。

